

# 終活・相続の10の常識クイズ 【解答】

次の質問に正しければ（ ）に○、間違えていればXを入れ正しい文章にしてください。

(注)解答例文の最後の [] はそれぞれの解答のあるこのHP の頁です。

(X) Q1:終活とは、“ズバリ”死ぬための準備”である。

➡終活とはより積極的な“誰にでもやってくる終焉を受け入れて、人任せにしない自分らしく生き生きと暮らすための活動”と定義される [終活]。

(X) Q2:エンディングノートには、一定の様式がある。

➡エンディングノートには、法的規制・書き方の制約などはなく全く自由である [終活]。

(X) Q3:平均寿命が81歳であれば、70歳の人は $81-70=11$ で、これから平均的には11年生存することになる。

➡平均寿命は0歳児の平均余命であり、70歳の平均余命を16年とすれば16年間生存し、 $70+16=86$ 、平均的には86歳が享年となる [終活]。

(X) Q4:介護が必要になる最大の原因は、高齢による衰弱である。

➡最大の原因は、脳血管疾患で次に認知症、高齢による衰弱は第3位である [介護]。

(X) Q5:要介護3とは、生活の一部に部分的もしくは全てに介護が必要な状態である。

➡要介護3は、重度の介護が必要の状態、問題文は要介護2の状態である [終活]。

(X) Q6:老後の住まいの分類は比較的単純である。

➡いろいろな法律が絡んで、かなり複雑である [老後の住まい]。

(X) Q7:サ高住(サービス付き高齢者向け住宅)は、有料老人ホームと重複することはない。

➡サ高住の登録を受けながら有料老人ホームに該当する施設は多く存在する [老後の住まい]。

(X) Q8:遺産相続でもめるのは、富裕層が多い。

➡むしろ一般家庭のほうが相続対策をしていないケースが多く、もめることが多い [相続]。

(X) Q9:中流家庭であれば、終末期パターンにかかわらず老後破産をすることはない。

➡最悪の介護づけ(カイカイコロリン型)では、中流家庭でも老後破産する [シミュレーション]。

(X) Q10:家族信託は使い勝手が悪く、終活の検討事項にはならない。

➡生前に財産処分できるので使い勝手もよく、認知症とお金の問題を解決でき、終活の重要な検討課題である [その他]。